

体験・交流から考える

【障害のある人・お年寄りについて】導入編

1 地域に住む人たちのことを知ろう! 【障害のある人】

対象：小学校中学年～一般 人数：10～40名 時間：90分
体験使用物品：高齢者疑似体験セット、消毒用アルコールウェットティッシュ、A5白紙、ティッシュ

体験を交えながら、地域に住む障害のある人（視覚・聴覚・身体）のことについて知り・考え、自分たちにできることを考えます。

- ①市内にはどんな障害の人が多い？
- ②視覚障害：目が見えない見えにくいってどういうことかな？
 - ・見えない、見えにくいにもいろいろあることを知ろう【体験】
 - ・目の見えない人の歩く方法
 - ・見えない人が情報を受け取るには
- ③聴覚障害：耳が聞こえない、聞こえにくいってどういうことかな？
 - ・聞こえない・聞こえにくいをイメージしてみよう【体験】
 - ・耳の聞こえない人とのコミュニケーション方法
 - ・耳の聞こえない人はどんな時に困るかな
- ④身体障害：体が不自由ってどういうことかな？
 - ・足の不自由な人が使う道具について
 - ・足が不自由になったら？イメージしてみよう【体験】
 - ・覚えておきたいマークについて
- ⑤自分たちにできることを考えてみよう（まとめ）

2 高齢者の体に変身してみよう! 【お年寄り】

対象：小学校中学年～一般 人数：10～40名 時間：90分
体験使用物品：高齢者疑似体験セット、消毒用アルコールウェットティッシュ、使い捨てゴム手袋

お年寄りの体に変身して、いつも行っていることをして見ることで、普段の生活とどんな違いがあるのかを考え、自分たちにできることを考えます。

- ①お年寄りの体の変化について
- ②どんなことに注目して体験するの？
- ③道具の付け方について
- ④お年寄りになると、普段の生活の中でどんな変化が起こるの【体験】
- ⑤自分たちにできることを考えてみよう（まとめ）